


Adv. アドバンスモード

高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます。

モードダイヤルを **Adv.** に合わせます。撮影メニューの  **Adv. モー**ドから、使用するアドバンスモードを選んでください。



ぐるっとパノラマ 360

カメラを動かして撮影した複数の画像を自動で合成し、1枚のパノラマ写真を作成します。ぐるっとパノラマ 360 モードでは、広角側に固定されます。

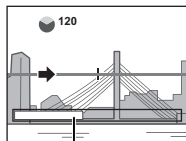


- 1** 撮影する角度（撮影画角）を選びます。
▼ を押して撮影画角変更画面を表示させ、◀ または ▶ で撮影する角度を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 2** 撮影方向を選びます。
▶ を押して撮影方向選択画面を表示させ、◀ または ▶ で撮影する方向を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 3** シャッターボタンを全押しして、撮影を開始します。
撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

4 矢印方向にカメラを動かします。

矢印方向にカメラをガイドバーの終端までスムーズに動かすと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。

◆ 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が120度以下の場合は、パノラマ写真は保存されません。



ガイドバー

● うまく撮影するには

- 一定の速度で小さな円を描くようにカメラを動かします。
 - カメラを地面と平行（水平）に構え、ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
 - うまくいかないときは、移動速度を変えてください。
- ① 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
 - ① 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
 - ① 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
 - ① カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
 - ① 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
 - ① 以下の場合は、ぐるっとパノラマ 360 撮影には適していません。
 - 被写体が動いている
 - 被写体とカメラの距離が近すぎる
 - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
 - 波や滝など常に模様が変わる風景
 - 明るさが大きく変動するシーン

☑️ ぼかしコントロール

人物や花などの背景をぼかし、被写体を強調して撮影したいときに使用します。シャッターを押すと最大3コマ連写し、カメラが自動的にピントを合わせた被写体以外の背景をぼかします。一眼レフカメラで撮影したようなぼけ味のある写真を撮影できます。撮影前に ◀ または ▶ でぼかしの強度を3段階から設定できます。



◆ セットアップメニューの **📷 処理前画像記録**では、**☑️ ぼかしコントロール**で処理する前の画像も同時に記録するように設定できます (☞ 116)。

- ① 被写体と背景が近づきすぎていると、背景をうまくぼかせないことがあります。フォーカスロック時に「**！背景をぼかせません**」とメッセージが出たときは、被写体から少し離れて、**📷** (望遠) 側へズームレバーを動かし調整してください。
- ① 動いている被写体の場合、ぼかし処理に失敗することがあります。
- ① ぼかし処理が失敗すると「**❗画像を確認してください**」とメッセージがでます。再度、撮影してください。
- ① 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- ① この機能での撮影では、通常より撮影範囲が狭くなります。

連写重ね撮り

暗いシーンや望遠撮影時の止まっている被写体の撮影に適しています。シャッターを押すと連写し、カメラが自動的に1枚の画像に合成します。手ブレを抑え、高感度でもノイズが少ない写真を撮影できます。



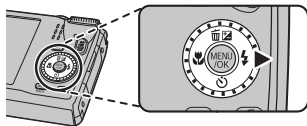
◆ セットアップメニューの **処理前画像記録** では、**連写重ね撮り** で処理する前の画像も同時に記録するように設定できます (p.116)。

- ① 動いている被写体の場合、合成処理に失敗することがあります。
- ① 撮影中にカメラを大きく動かした場合や撮影シーンによっては、合成されずに記録されることがあります。
- ① 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- ① この機能での撮影では、通常より撮影範囲が狭くなります。

⚡ フラッシュ撮影（スーパーiフラッシュ）

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

▶（⚡ フラッシュ）ボタンを押します。



フラッシュ	(※ 1)	説明
AUTO		オートフラッシュ（表示なし）：ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
⚡		強制発光：逆光で被写体が暗くなっているときに使います。周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
S4		スローシンクロ：夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。

※ 1：顔キレイナビと赤目補正が ON のときに顔を検出した場合は、赤目現象を軽減します。

● フラッシュ発光禁止




フラッシュを閉じると発光禁止になります。フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。被写体が暗いときでも、フラッシュを発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。

●● 赤目現象

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象のこと。

●● スーパーiフラッシュとは

このカメラは、被写体の位置とカメラとの距離、明るさなどを瞬時に計算して、最適な発光量と感度を自動的に調整する「スーパーiフラッシュ」を搭載しています。薄暗い室内などでも人物の白とびや背景の黒つぶれを防ぎ、目で見たままに美しく撮影できます。

- ◆ フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに  が表示されます。
- ◆ シャッタースピードが遅く、手ぶれしやすい状態では、液晶モニターに  が表示されます。フラッシュ設定を  以外にするか、三脚をご使用ください。
- ◆ フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。
- ◆ フラッシュが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。

●● フラッシュについて

フラッシュはカメラの電源をオンにすると自動的にポップアップし、電源をオフにすると自動的に閉じます。

また、電源オン時に手で閉じることができます。電源オン時は少し隙間が空きますが、フラッシュは閉じています。再度ポップアップするときは、隙間に指を入れ上に引き上げてください。

